

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

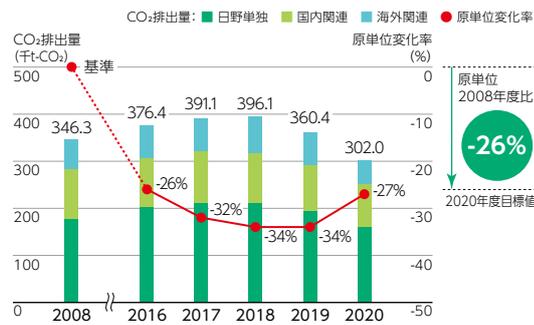
環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画)    2020年 環境取り組みプラン    2025年 環境取り組みプラン    6つのチャレンジ    法令順守    マネジメント  
各種環境データ    その他の活動

## 各種環境データ

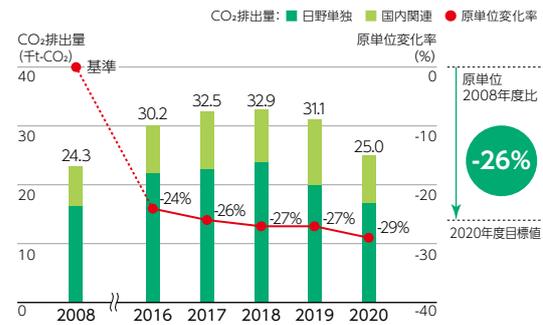
### 主要パフォーマンスデータ

日野自動車は生産活動にともなう環境負荷について、環境への取り組み実行計画「環境取り組みプラン」で具体的な削減目標を掲げ、細かな施策を積み重ねることでCO<sub>2</sub>削減活動や省資源活動、節水活動などの低減活動に取り組んできました。以下のパフォーマンスデータは2016年度～2020年度のアクションプラン「2020年環境取り組みプラン」の成果を示すものです。有価物が廃棄物に変更されたことに伴い廃棄物量の増加・新型コロナウイルスの影響に伴う生産減による原単位悪化等により、廃棄物・水は目標未達となりました。「2025年環境取り組みプラン」の活動として引き続き、改善活動を継続していきます。

#### ● CO<sub>2</sub>排出量・原単位<sup>※1</sup>(グローバル<sup>※4</sup>)<sup>※6</sup>



#### ● 物流CO<sub>2</sub>排出量・原単位<sup>※2</sup>(国内連結<sup>※5</sup>)



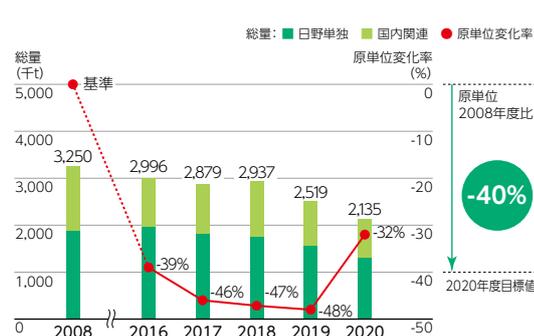
#### ● 廃棄物総量・原単位<sup>※1</sup>(国内連結<sup>※5</sup>)



#### ● 梱包包装資材総量・原単位<sup>※3</sup>(国内連結<sup>※5</sup>)



#### ● 水使用量・原単位<sup>※1</sup>(国内連結<sup>※5</sup>)



#### ● VOC排出量(日野工場・羽村工場)

※2017年度より、古河工場を含む。



※1 原単位：1台当たり    ※2 原単位：輸送量当たり    基準年の数値を見直したため、過年度の原単位変化率も適及修正しています。    ※3 原単位：出荷容積当たり    ※4 グローバル：日野(日野、羽村、新田、古河の4工場)、国内関連会社6社、海外関連会社9社    ※5 国内連結：日野(日野、羽村、新田、古河の4工場)、国内関連会社6社    ※6 報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント  
[各種環境データ](#) [その他の活動](#)

## 環境会計

日野自動車では、環境省の環境会計ガイドラインをもとに、環境保全コストと効果を集計しており、費用対効果を定量的に把握することで、効果的な環境投資と継続的な環境負荷の低減に役立てています。

2020年度の環境保全における、コストは総額334億円(前年比4%減)、経済効果は11億円(前年比28%減)でした。

### ● 環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト 分類	2019年度		2020年度		主な取り組みの内容
	投資額	費用	投資額	費用	
(1) 事業エリア内コスト	496	714	0	255	
① 公害防止コスト	93	171	0	0	大気汚染、水質汚濁などの公害防止のためのコスト
② 地球環境保全コスト	341	186	0	0	省エネルギー設備などの地球環境保全コスト
③ 資源循環コスト	62	357	0	255	リサイクル、廃棄物の処理などの資源循環コスト
(2) 上・下流コスト	0	59	0	56	環境負荷を減らすための追加的コスト
(3) 管理活動コスト	0	393	0	432	EMS維持運用、情報公開
(4) 研究開発コスト	0	33,023	2,850	29,837	環境負荷抑制のための研究開発費
(5) 社会活動コスト	0	5	0	0	事業所外の自然保護、緑化、美化等の環境改善コスト
(6) 環境損傷対応コスト	0	0	0	0	
合計	496	34,194	2,850	30,580	

※ 環境対応とそれ以外の目的のものとの区別が難しい設備投資などについては、環境対応であることが明確に把握できる項目のみを計上しています

### ● 環境保全効果 (1) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

	効果の内容	2019年度	2020年度
収益	リサイクルによる事業収入	1,376	1,086
	その他	0	0
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	117	3
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	22	6
	その他	0	0
合計		1,515	1,095

※ 環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

### ● 環境保全効果 (2) 物量効果

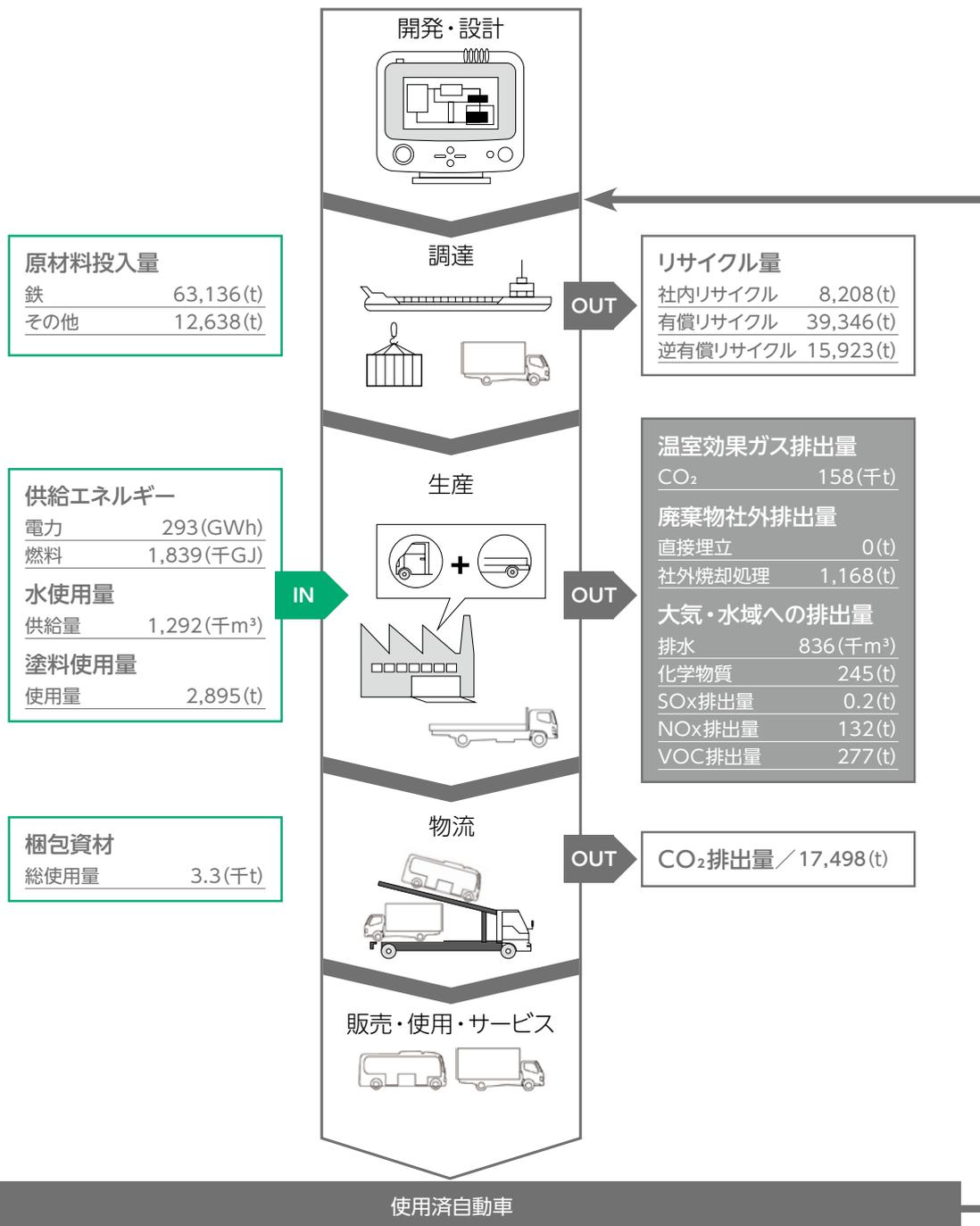
	2019年度	2020年度
CO <sub>2</sub> 低減(t-CO <sub>2</sub> )	2,104	75
廃棄物低減(t)	490	1,527

※ 環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) | 2020年 環境取り組みプラン | 2025年 環境取り組みプラン | 6つのチャレンジ | 法令順守 | マネジメント  
[各種環境データ](#) | [その他の活動](#)

## マテリアルバランス

開発、設計から使用・廃棄にいたるまで製品のライフサイクルにわたる環境影響を把握し、どのプロセスでとくに環境負荷が高いか課題を明確にして、包括的に環境負荷の低減に向けて取り組んでいます。



※ データの集計範囲は日野・羽村・古河・新田の4工場です。  
 報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。